

小學級
修正尋常日本讀本

卷二

8
171

檢定申請本

K120.8

51.2b

2

K120.8

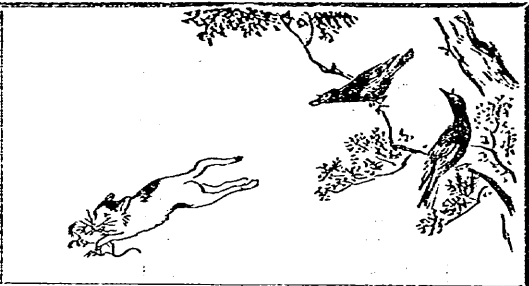
51.2b

2

渡邊政吉著

單級 小學 修正尋常日本讀本

東京 金港堂書籍株式會社



カラスガ、カー、カー、トナク。
ネズミハ、チュー、チュー、トナク。
ネコハ、ニヤー、ニヤー、トナク。



ガ
ハ、トリデアリマス。

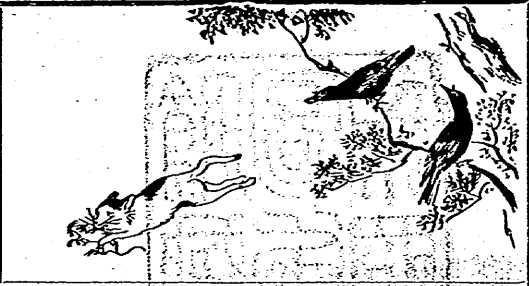


ガ
ハ——デアリマス。

渡邊政吉著

單級 小學 修正尋常日本讀本

東京 金港堂書籍株式會社



カラスガカー、カートナク。
ネズミハ、チユー、トナク。

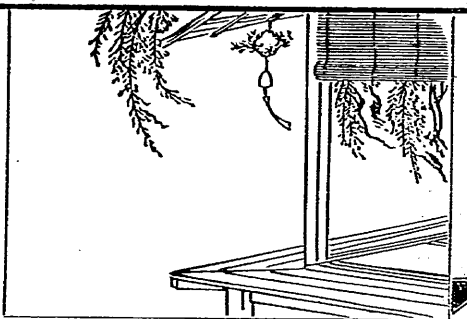
ネコハ、ニヤー、ニヤー、トナク。



ガ フトル。
ハトリデアリマス。



ガ フ。
ハ——デアリマス。



ユフガタニナリマシタ。
 スコシカゼガデマシタ。
 ヤナギガウゴイテキマス。
 フーリンガナツテキマス。



コノエヲミテ
 ブンヲカケ。



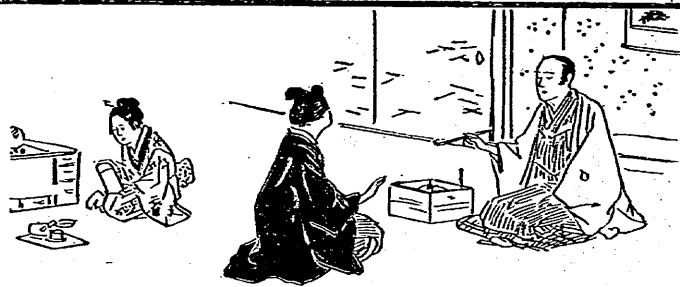
ちよつときて
 ごらんなさい。
 ふーせんがあ

がりました。

あーたかくあがりました。

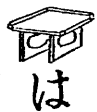
きのふよりはたかくあがりました。

人がののってゐる。人が回を—てゐる。



○ おきやくがおいでになりました。
 どびんに、ちやをいれやう。
 おきやくに、ちやをあげやう。

は 〇 をのせるものであります。



は



○ ビョーニシガ、ヨーダイヲ
 ハナス。
 イシヤハ、ヨーダイヲキク。
 イシヤハ、ミヤクラミル。



ハ、ア、シノナガイトリデアリマス。ハ





○
 ヲヂサンノトコロカラ、
 ユービンガキマシタ。
 キューヨーガアルカラス
 グキテクダサイト、カイト
 アリマス。

ナニヲシテ

キマスカ。

ココニナニガ

アリマスカ。



ない。

○
 ことしは、ほーねんである。
 こめや、あはが、よくできた。
 きこーが、まことに、よろし
 うござります。

こーずいもないひでりも



は、みづをいれるものであります。



は、――



○
 ごじゆーのとーのしたに、
 うまがある。
 べつとーがうまにみづを、
 のませてゐる。

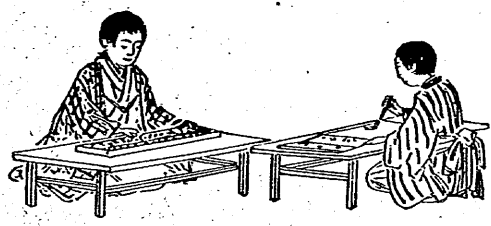
らきたのである。



このゑを
 みて、ぶん
 をかけ。

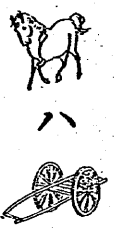


○
 は、あしがはやい。
 は、あしが――。



○
 アノコドモシユハ、ヨクセ
 イヲダスコドモシユダ。
 アニハサンジュツヲ、カン
 ガヘテキル。

オトウトハ、シユージヲシテキル。



ハ
ヲヒク。



モ



コノエハ
ナニカ。



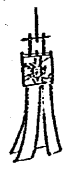
イシドローノウヘニ、ネ
コガキル。

トンボウガイシドロー
ヘトマラウトシテキル。

ネコハ、トンボウヲトラウトシテキ
ル。

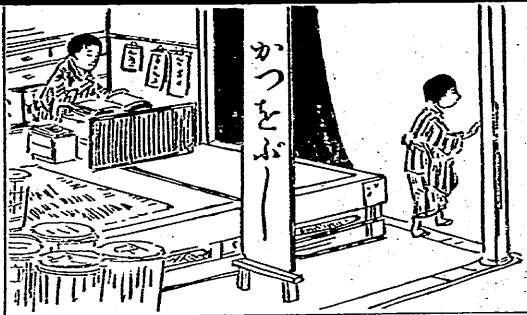


コノエヲ
ミテ、アン
ヲカケ。



ガサゲテアル。

たろーは、みせにて、ちよーめんをつ
けてゐる。



じろーはきんじよへつ
かひにゆく。
あのきよーだいはよく
おやのいひつけをまも
る。

このはをさげてゆく。これはであります。



ばしやのうへにほーおー
がついてある。
あれはてんしさまのば
しやである。

がつこーのせいとがきよーきよく
れいをしてゐる。

はみづをくむものであります。は

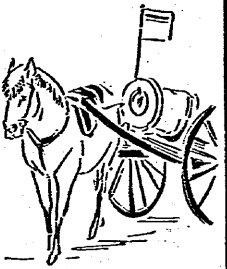


は



アネハ、ハウキヲモツテ、
ソージヲシテキル。
イモトハゾーキシヲモツ
テ、エンガハラフイテキ
ル。

アノムスメハ、カシシシナ、ムスメダ。



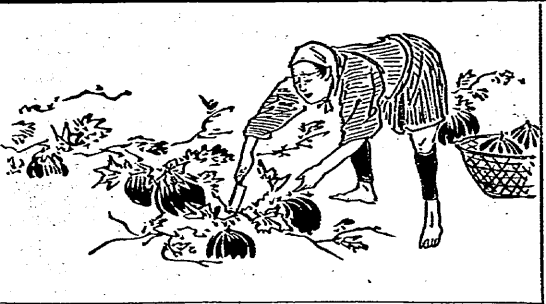
コノエヲ
ミテ、アン
ヲカケ。



コノエヲ
ミテ、アン
ヲカケ。

ヒヤクシヨーガ、スイクワ
ヲ、トツテキル。

スイクワヤグワシヲグヒ
スゴストキハ、ビヨーキニ



ナル。
ヒトハ、ヨージョーラ、ワスレテハ、ナ
ラヌ。



ハ、ウマクアリマス。



ハ



ニテ、ヲキル。



ニテ、ヲキル。

せいとが、そろひのぼしをかぶつ



てすすみゆく。
よーふくをきて、さきへ
ゆくひとは、きよーしで
ある。

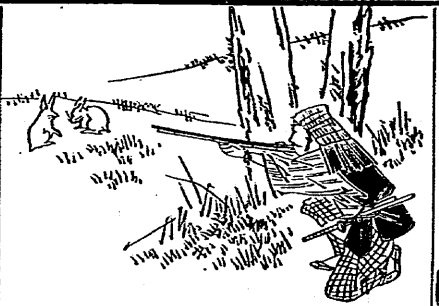
あれは、しよーがつこーの、うんどー
くわいであらう。



のねはくろい。



はからい。



○ やまにうさぎがある。
 りよーしがてつぽーで
 ねらつてゐる。
 ひとがづりをしてゐる。
 むかうにじよーきせん
 がみえる。



はやまにすむ。



はけものをくふ。



は



は



○ ケフハアタタカイヒデア
 アル。
 アレナノハナガサイテ
 アル。
 チョーガタイソー、ト
 ンデキ
 ル。

チヨ一ハ、キレイナムシデアアル。



○
コノエヲ
ミテ、ブン
ヲカケ。
ハムシヲクフ。
ハ

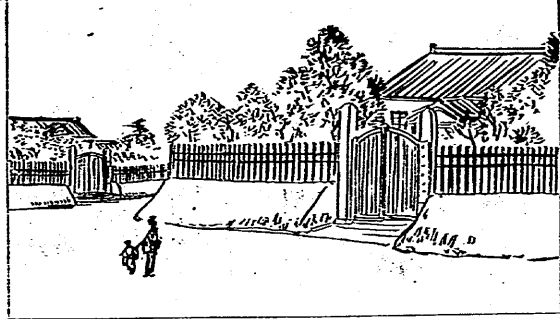


○
アマガシヨ一ジノキリ
バリヲシテキル。
ナンドモ、コハレテ、シマ

ハヌウチニ、テイレヲスルガ、ヨイト
イフテキル。
アノアマハ、ホ一ジヨ一トキヨリノ
ハハデアアル。



○
コノエヲ
ミテ、ブン
ヲカケ。
ハ
ハ、ハタニツクル。



けふは、きゅーじつです。
 がつこーのもんが、しめ
 てあります。
 けふは、ちよーです。
 がつこーも、よーちえん
 も、やすみです。



は、ーをもるものであります。



は



○
 ひとが、おほせいどこへ
 かゆく。
 ひよーたんを、さげてゆ
 く人もある。

じゅーばこを、もつてゆく人もある。
 あの人人は、はなみにゆくのであり

ませう。



は、にもつをはこぶものであります。は




○
大キイ人ト、チヒサイ人。
大キイ人ハ、スマウトリ
デアル。
スマウトリハ、大キイ。

スマウトリハ、チカラガアル。
アノスマウトリハ、ツヨソダ。



○

大キイ  ガハエテアル。

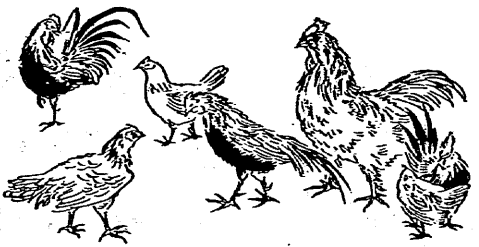
コノハ  ハ——ノ  ダ。

コドモガ、チョーレンノ、マネヲシテ
キル。



大キイ犬ガ、コドモヲノ
セテ、カケテユク。
犬ニノツテキルコド
モハ、タイシヨードア
ル。

タイシヨードハ、ボートフリ、ゴーレイ
ヲカケテキル。



コノエヲ
ミテ、ブ
ヲカケ。



ハシラヌ



ニホエル。

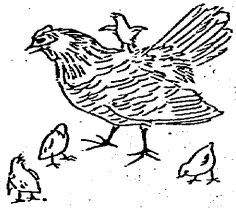
ハヨク



ニナレル。

ここに、いろいろの、には
とりがある。
小さいには、とりは、ちや
ほである。

大きいにはとりは、くきんである。
ちやぼのたまごは、小さい。
くきんのたまごは、大きい。



この卵を
みて、ぶん
をかけ。



は、大きい。
は、

大きい川がながれてゐる。



大きい川のりよーがは
に、小さい川が、たくさん
ある。

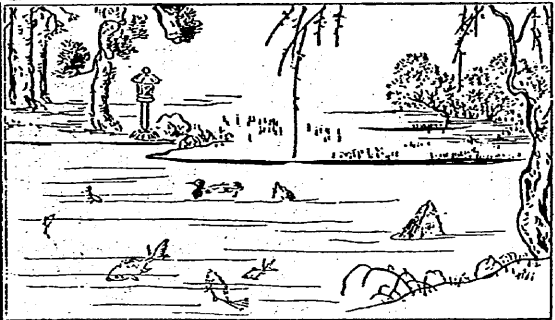
小さい川があつまつて

大きい川となる。

大きい川は、小さい川の、あつまつた
ものである。



は——をつくる。川のみづはからでる。
は——をうむ。川にはがるる。



○
イケノ中ニ、キンギョガ
キル。
カモガ、ミヅノ中ヘググ
リイル。

キンギョハ、ムシヲクヒ、カモハ、ウヲ
ヲクフ。
カモハ、ミヅカキニテオヨギ、キンギョ
ハ、ヒレニテオヨグ。



○
コノエヲ
ミテ、ブシ
ヲカケ。



ハミヅニスムトリ
デアリマス。



ハ



山ノコシニクモガア
ル。山ノウヘニユキガア
ル。

アノ山ハスリバチヲフセタヨ
ーダ。
アレハフジノ山ダ。

フジノ山ハニツポシ
ーノナダカイ
山デア
アル。



アリガ
ーヲツム。

アリノ
ーハ
ーニニテキ
ル。

○

ひが山から出た。
ひやくしよーがくはを、かたげて、は



たに出る。

しよくにんはべんとー

をもつてしごとばへ出

てゆく。

人ははやくおきてかぎよーにせいを
出すがかんよーだ。

はつちをほるものであります。



○

にはに山がある。

山の上にまつのきがあ

る。

まつのきの上にからす

がある。

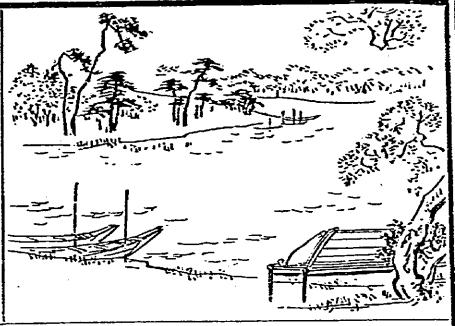
山の下にいけがある。

いけにはしがかつてある。
 はしの上に人がゐる。
 はしの下にうをがゐる。



きのーにーがゐる。
 きのーにーがゐる。
 ーはーをうたうとしてゐる。

川ノフチニ木ガハエテアル。



木ノ下ニコシカケガアル。
 ココハスズミバデアアル。
 川上ニブネガアル。

川下ニモブネガアル。



コノエヲ
 ミテブン
 フカケ。



ハチニ、マツノ木ガ、ウエ
 テアル。
 ウメノ木モ、ウエテアル。
 タケモ、四五本ウエテア
 ル。
 ラトコノコガ、ツクエニムカツテ、本

ヲ、ヨンデキル。
 ランナノコガ、本バコカラ、本ヲ出シ
 テキル。
 アノムスメノ、出シテキル本ハ、シヨ
 ガクトク本デアル。



コノエヲ
 ミテ、ブン
 ヲカケ。



ニハ——ノハサミガアル。
 ニハ——ノアシガアル。



○
 むかうの山に火がみえ
 る。
 あれは、山くわじてある。
 山くわじは、たきびから
 おこる。

くわじは、すべて、ふちゅーいからお

こる。

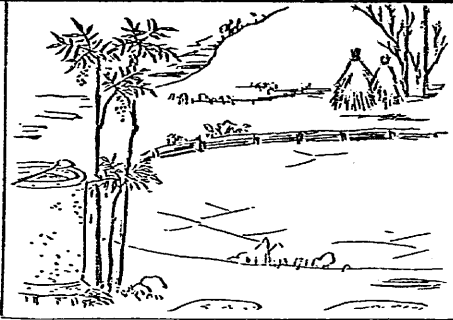
火のものは、よーじんせねばなら
 ぬ。



○
 なにを
 してゐ
 ますか。

は——をとます
 ものであります。
 は——

いけの水がこほりました。



てうづばちの水もこほ
りました。

いけの氷はうすい。

てうづばちの氷はあつい。

水はこほりて氷となり、氷はとけて
水となる。

ゆはあつい。——はつめたい。——もつめたい。さむい

ばんには——が——。ひがあたれば——が——。

○

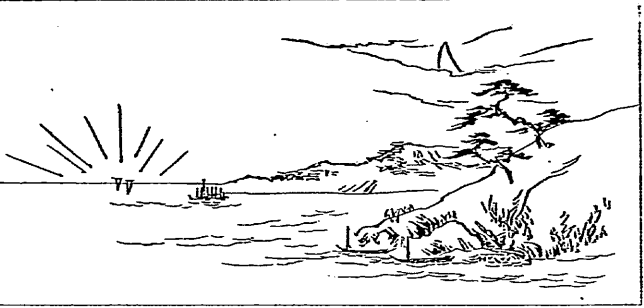
日ガイリマシタ。

月ガ出マシタ。

日ハイツモマルイ。

月ハマイバンカタチガ

カハル。



○
 人は口にてものをいふ。
 また口にてものをくふ。
 じゆくせぬくだものは口にいれるな。
 人は目にてものをみる。
 目のみえぬ人はふじゆうである。
 じをしらぬ人もふじゆうである。



のほはけにてつくる。



のみはにて



のじくはにて



のえはにて

○

このゑをみよ。

ざしきに、しよくだいがたてである。
ろーそくの火は、きえてある。

これは、ほきの一といふ目くらが、こー
しやくをしてゐるところである。

8
171

版權
所有

著 者 渡 邊 政 吉

印 發 者 兼 行 刷 者 金 港 堂 書 籍 株 式 會 社

代 表 者 原 亮 一 郎

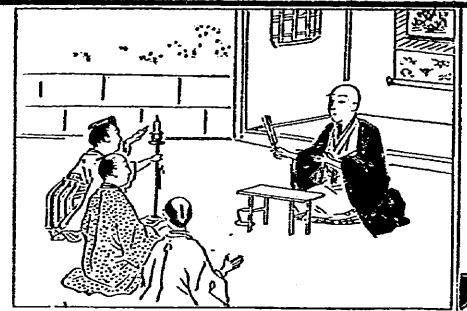
賣 捌 所 各 府 縣 特 約 販 賣 所

右 社 長 東 京 市 下 谷 區 龍 泉 寺 町 四 百 四 十 四 番 地

全 八 冊 明 治 廿 五 年 十 二 月 六 日 出 版
 自 卷 二 地 同 明 治 廿 六 年 九 月 三 日 訂 正 再 版 印 刷
 至 卷 五 地 同 明 治 廿 六 年 九 月 七 日 發 行
 全 八 冊 同 明 治 廿 四 年 十 一 月 二 十 七 日 發 行 修 正 三 版 印 刷

第一	金 六 錢	第五	金 拾 錢 八 厘
第二	金 七 錢 貳 厘	第五	金 拾 貳 錢
第三	金 八 錢 四 厘	第五	金 拾 貳 錢
第四	金 九 錢 六 厘	第五	金 拾 貳 錢

(修 正 級 日 額 事)



は は は

を た て て お く も の で あ り ま す 。

人 は べ ん き よ ー が か ん
 よ ー で あ る 。

べ ん き よ ー す れ ば 目 く
 ら で も も の し り と な る 。

卷 二 金 港 堂 書 籍 株 式 會 社

